

第 588 回

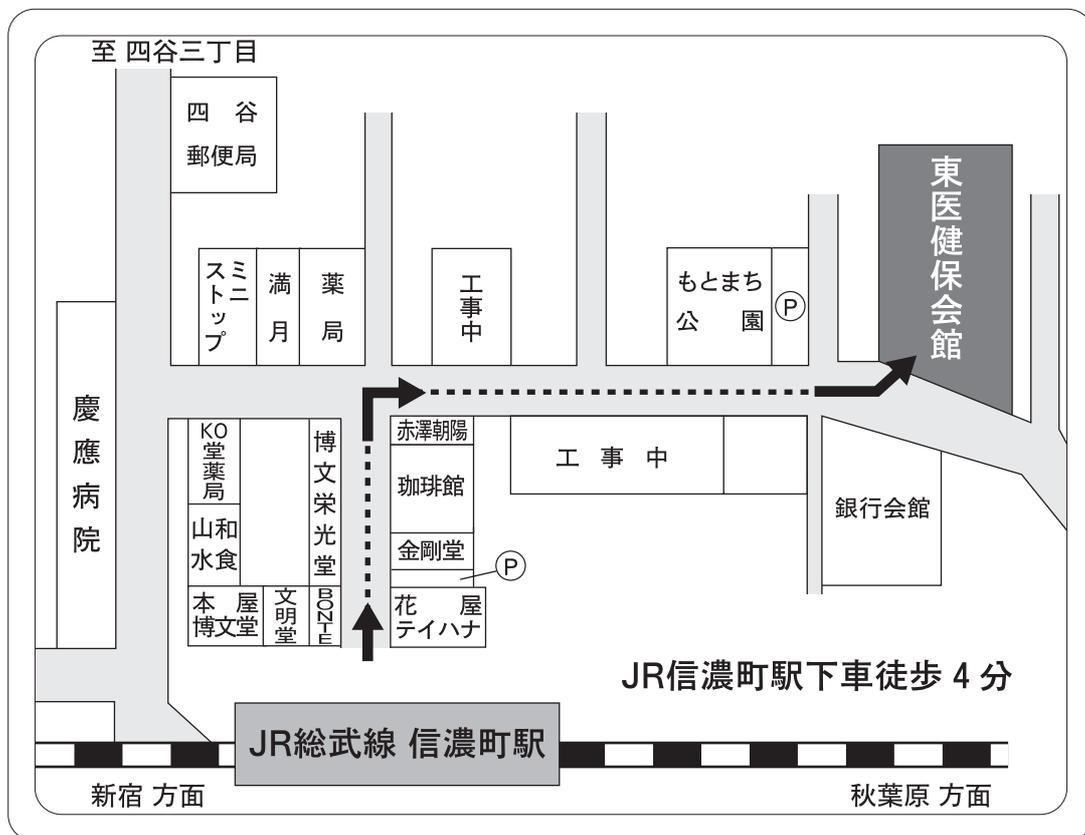
日本小児科学会東京都地方会講話会

プログラム

日 時 平成 24 年 1 月 14 日 (土) 午後 2 時 00 分

場 所 東 医 健 保 会 館

新宿区南元町 4 番地 3353-4311



演題の申し込みについて

1. 講話会の当日、文書で提出、もしくは e-mail で事務局宛送ってください。
2. 抄録 (160 字以内) をおつけください。
3. 原則として指定発言をつけてください。
4. 演者、指定発言者は、当日二次抄録 (200 字以内) を提出してください。(日本小児科学会誌掲載の為)

世話人

プログラム係 齋藤 正博
順天堂大学小児科 03 (3813) 3 1 1 1 内線 5 6 7 0
(FAX) 03 (5800) 1 5 8 0

会場係 池田 一成
慶應義塾大学小児科 03 (3353) 1 2 1 1 内線 6 2 3 6 5
直通 (FAX) 03 (5379) 1 9 7 8

事務局 03 (5388) 7 0 0 7
e-mail: jpstokyo-office@umin.ac.jp

第 588 回 日本小児科学会東京都地方会講話会演題

(1 題 6 分, 指定発言 5 分, 追加討論 3 分以内, 厳守のこと。○印演者)

第 1 グループ 14:00—14:35

座長 荒井 博子 (東邦大学医療センター大森病院新生児科)

- 1) 脳室拡大を胎児期に指摘され, E1 α サブユニット PDHA1 遺伝子に欠失を認めた新生児期発症ミトコンドリア病 (ピルビン酸脱水素酵素複合体異常症) の 1 例
○大内 啓嗣, 鹿嶋 晃平, 内野 俊平, 木村 有希, 安井孝二郎, 岩崎 博之, 五石 圭司, 五十嵐 隆 (東京大学小児科)

胎児エコーで脳室拡大があった女児。出生後, 高乳酸血症からミトコンドリア病を疑った。ビタミン B₁, コエンザイム Q₁₀, ケトンミルク投与にて高乳酸血症は改善した。遺伝子検査で E1 α サブユニット PDHA1 遺伝子に欠失があり, ピルビン酸脱水素酵素複合体異常症と診断した。ミトコンドリア病を鑑別にあげることによって早期治療介入を行えた。

- 2) 胎児診断により早期介入し得た血管輪の 4 例
○熊澤 健介, 藤本 義隆, 伊藤 怜司, 河内 貞貴, 浦島 崇, 藤原 優子, 井田 博幸, 板橋家頭夫 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

血管輪は, 大動脈形成異常により気管・食道を圧迫し諸症状を来す。術後に気管合併症を呈する報告もあり, 手術時期に関しては確たるものはない。今回胎児診断され, 症状出現前より介入できた 4 例を経験した。3 例で乳児期早期に手術を行った。1 例は異なる形態変化を呈し, 本症例の発生・手術時期に関し興味深いと考えられた。

- 3) Gross D 型 食道閉鎖を合併した CHARGE 症候群の 1 例
○村川 哲郎, 渡邊 佳孝, 間瀬 美紗, 山崎 武士, 宮沢 篤生, 滝元 宏, 中野 有也, 村瀬 正彦, 櫻井基一郎, 相澤まどか, 水野 克己, 板橋家頭夫 (昭和大学小児科)
長谷川久弥 (東京女子医科大学東医療センター周産期新生児診療部)

在胎週数 41 週 0 日, 出生体重 3,135 g で出生した男児。各種身体所見より CHARGE 症候群と診断した。胃管は頸部までしか挿入できず, coil up sign は認めなかった。食道閉鎖の他に喉頭奇形や食道狭窄も考慮し上部消化管造影を施行した。胃が造影された事で診断に苦慮したが, 気管ファイバーにより気管食道瘻が存在することを確認し診断に至った。

指定発言 渡井 有 (昭和大学小児外科)

第 2 グループ 14:35—15:10

座長 細野 茂春 (日本大学板橋病院小児科)

- 4) B 群溶連菌 (Ib 型) による遅発型敗血症の 1 例
○熊坂 栄, 峯 牧子, 中島 瑞恵, 田辺雄次郎, 星野 レイ, 島 義雄 (葛飾赤十字産院)

生後 1 カ月女児。在胎 27 週 0 日, NRFS のため緊急帝王切開にて出生。急性期の呼吸循環管理を離脱後の日齢 54 に, 突然無呼吸発作が頻発, 皮膚蒼白となった。人工呼吸管理, カテコラミン, 抗菌薬投与を行うも効果なく発症 5 時間後に永眠。後日, 血液より B 群溶連菌が検出された。Ib 型による遅発型敗血症は稀であるため, 文献的考察を加えて報告する。

5) vincristine が奏功した治療抵抗性 Kasabach-Merritt 症候群の 2 例

○安藤 友久¹, 岡田はるか¹, 田中 康子¹, 出来 沙織¹, 山田登紀子¹, 長野 智那¹,
中館 尚也¹, 石黒 精^{1,2}, 野崎 誠³, 新関 寛徳³
(国立成育医療研究センター総合診療部)¹, (同 血液内科)², (同 皮膚科)³

Kasabach-Merritt 症候群 (以下, KMS) は, 極めて稀な, 増大傾向を示す巨大血管腫, 消費性凝固障害症 (DIC) 及び血小板減少症を合併した疾患で, その治療方法は様々であり, コンセンサスの得られた治療はレジメンはない。今回, われわれは, prednisolone, propranolol, warfarin, 放射線治療などに抵抗性を示した, KMS の 2 例において vincristine が奏功し, 血小板減少の抑制と血管腫の退縮を認めた。文献的考察を加えて報告する。

指定発言 陳 基明 (日本大学小児科)

6) 多彩な症状を示した性虐待の 1 例

○勝丸 雅子, 池田 麻莉, 香取 奈穂, 江崎 隆志, 酒井 道子, 渡辺 久子, 高橋 孝雄
(慶應義塾大学小児科)

性虐待の傷は非常に深刻で「魂の殺人」とも呼ばれる。我々は多彩な症状を示した性虐待の 1 例を経験したので報告する。症例は 8 歳女児。3 歳時に実の父による性虐待があり, 数年後に不登校・家庭内暴力・幻覚妄想状態に陥っていた。見と丁寧に信頼関係を築くことにより, 症状は軽快しつつある。小児科医は「何かおかしい」と感じたら性虐待の可能性も頭に入れて継続的にみる必要がある。

休 憩 15:10—15:20

感染症だより 15:20—15:30

座長 山本 光興 (山本小児科)

多屋 馨子 (国立感染症研究所感染症情報センター)

教育講演 15:30—16:10

座長 泉田 直己 (曙町クリニック)

小児アレルギー性鼻炎の現状と今後の展望

岡本 美孝 (千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学)

花粉症も含めて小児のアレルギー性鼻炎患者数は増加している。直接死に至る疾患ではないが, 睡眠や学業への影響から患児への QOL 障害が強い。また自然改善が少なく多くの患児は改善が無いまま成人に移行している。近年, 小児に対しても様々な特徴をもった安全性の高い薬剤の登場などで治療手段に向上がみられている。ただ, あくまで対症療法であり, 自然経過を改善させる治療として抗原特異的免疫療法に対する期待も大きい。講演では小児アレルギー性鼻炎の現状, 治療, 今後の展望について述べる。診療に役立てて戴ければ幸いです。

第 3 グループ 16:10—16:45

座長 工藤 孝広 (順天堂大学小児科)

7) 蛋白漏出性胃腸炎を合併した好酸球性胃腸炎の 1 例

○岩田賢太郎, 松下 祥子, 村越 孝次 (東京都立小児総合医療センター消化器科)
吉田 幸一, 赤澤 晃 (同 アレルギー科)
福澤 龍二 (同 検査科)

症例は 5 歳女児。2 カ月続く下痢, 末梢血好酸球数増多, 低アルブミン血症の精査加療目的に当科を紹介受診した。食道, 胃, 結腸の粘膜生検で好酸球浸潤を認めたため好酸球性胃腸炎と診断した。断食にて下痢は消失し, 除去食開始後も症状の再燃なく外来通院とした。小児の好酸球性胃腸炎の報告は少ない。若干の文献的考察を含め報告する。

指定発言 野村伊知郎 (国立成育医療研究センター病院 生体防御系内科アレルギー科)

8) 出生前に鎖肛が疑われ出生後先天性クロール下痢症と診断した1例

○不破 一将, 長野 伸彦, 宗像 俊, 深町 律子, 白倉 幸宏, 牧本 優美, 細野 茂春,
岡田 知雄, 高橋 滋, 麦島 秀雄, 大橋 研介

(日本大学小児科学系小児科学分野)

井上 幹也, 池田 太郎, 越永 茂道 (同 外科学系小児・乳腺内分泌外科学分野)

山本 樹生 (同 産婦人科学系産婦人科分野)

先天性クロール下痢症 (Congenital Chloride Diarrhea, 以下 CCD と略す) は、回腸末端及び結腸における Cl の能動的輸送の障害が原因とされる稀な遺伝的疾患である。我々は、水様性下痢と便中クロール高値から CCD と診断した1例を経験し、プロトンポンプ阻害薬、NaCl、整腸剤で加療を行った。CCD は、北欧に比べ本邦での報告は少なく、文献的考察も含めて報告する。

9) 血球貪食症候群を合併した小児皮膚筋炎の1例

○野村亜希子, 鬼田 智子, 斎藤 勝也, 中村 綾子, 長谷川真紀, 中村 隆広, 吉野 弥生,
橋本 光司, 瀧上 達夫, 稲毛 康司 (日本大学練馬光が丘病院小児総合診療科)

10歳男児。入院5日前から発熱、鼻出血、筋力低下を認め、血液検査で炎症反応の高値と血小板減少を認めたため、精査加療目的に入院した。臨床症状、血液検査、骨髄検査から血球貪食症候群 (HPS) を合併した小児皮膚筋炎 (JDM) と診断した。2つの疾患の合併に関する報告は非常に稀であり、文献的考察も含め報告する。

第4グループ 16:45—17:15

座長 堀越 裕歩 (東京都立小児総合医療センター感染症科)

10) 著明な肝機能障害と円盤状ループスを生じたコクサッキー A6 感染症の1例

○藤井 秀一, 重盛 朋子, 伊藤 保彦, 福永 慶隆 (日本医科大学病院)

9歳男児。2011年3月から頸部リンパ節腫脹で経過観察中、7月下旬から発熱、頬部の発疹、関節痛、著明な肝機能障害を認め入院した。マクロファージ活性化症候群を疑わせる検査所見、円盤状ループスを示唆する皮膚組織像を認めたが、積極的な治療はせずに改善した。コクサッキー A6 抗体価が 512 倍であった。

11) 血液培養により診断しえたサルモネラ食中毒の1例

○一色 恭平, 宮原 瑤子, 武内 俊樹, 池田 一成, 新庄 正宜, 高橋 孝雄

(慶應義塾大学小児科)

17歳女性。38℃台の発熱、倦怠感を主訴に当院受診。念のために実施した血液培養から、翌日グラム陰性桿菌が検出され入院。のちにサルモネラ属菌であることが判明。同じ食事を摂取した家族親戚の腸炎発症も確認し、保健所へ届出。臨床症状からは原因を推測することは困難であったが、血液培養と問診により診断が可能となった。

12) マイコプラズマ肺炎に縦隔気腫および皮下気腫を合併した8歳女児例

○竹内 祥子, 安部 信平, 鈴木 光幸, 青柳 陽, 春名 英典, 染谷朋之介, 工藤 孝広,
大塚 宜一, 清水 俊明 (順天堂大学小児科)

症例は8歳2カ月の女児。既往歴に気管支喘息があった。発熱、咳嗽、4病日から頸部腫脹も認め、6病日に肺炎、縦隔気腫、上半身全体の皮下気腫の診断にて当院入院となった。激しい咳嗽による気管裂傷から縦隔気腫、皮下気腫にまで発展したものと考えられた。抗体検査からマイコプラズマ感染症と診断した。本症例につき文献的考察を加えて報告する。

【運営委員会だより】

1. 12月の地方会講話会出席者271名、新入会3名、ベビーシッター申込は1名でした。
2. 24年度の子どもの健康週間について担当校が検討されました。
3. 東京都地方会幹事立候補状況について。

【演題の申し込みについてのお願い】

- 動画が含まれる場合には、その旨を明示して下さい。動画使用の場合には、具体的な注意事項を、折り返し事務局よりご連絡いたします。
- 原則として指定発言をつけて下さい。
- 演題の締切は次のようになります。

講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切	講話会開催月	演題締切
1月	前年11月30日	2月	前年12月25日	3月	1月31日
5月	2月28日	6月	4月30日	7月	5月31日
9月	6月30日	10月	8月31日	12月	9月30日

申込演題が12題以上になった場合、さらに1回先になることがありますのでご了承ください。
その場合、事務局よりご連絡します。

【演者の先生方へのお願い】

一次抄録は160字以内に。また、二次抄録は日本小児科学会雑誌に掲載されますので規定の200字以内を厳守くださるようお願いいたします。(原稿は活字もしくはワープロ文字で)

出席した会員に発表の意味をより強く、明確に伝えるために、最後(または適切な時期)にTake Home Message(この発表から学ぶこと)を手短かな一文で記したスライドを付け加えて頂くようお願いいたします。

【会員登録事項の変更届についてのお願い】

- 自宅、勤務先の住所(プログラム送付先)等の変更または、改姓があった場合は、速やかに東京都地方会事務局までご連絡下さい。
- 退会される場合も必ずご連絡ください。そのお届けがない場合は次年度も継続として年会費の請求を致します。

東京都地方会事務局 TEL: 03 (5388) 7007/FAX: 03 (5388) 5193

Presentation について

発表は Computer Presentation (Windows) のみで受け付けます。Powerpoint 2000 以上で作成、Font 文字は Powerpoint 備え付けのみ。CD-R もしくは USB メモリーにて、第 1, 2 グループ発表者は午後 1 時 30 分までに、第 3 グループ以降の発表者は午後 3 時までにスライド受付まで持参して下さい。機器操作は、当方で行います。あらかじめウイルス check をお願いいたします。

動画について

動画の発表にはトラブルが多いため、下記の方針をご理解いただきますようお願い致します。

- ① 一般演題での動画の使用はできる限りお控えいただくようお願い致します。
- ② 動画の使用が不可避と考えられる場合、ファイルのセーブ法などの注意事項がありますので、学会事務局に必ず事前にご連絡ください。
- ③ ②の場合にも、動画の映写にトラブルがあったときに備え、静止画像のみで構成された代替パワーポイントファイルをご用意下さい。当日、動画の映写が不可能と判断される場合には、代替パワーポイントファイルを用いて、時間通りに学会を進行させていただきますことをご了承下さい。

〈ベビーシッタールーム開設のお知らせ〉

乳幼児を同伴される方のために、ベビーシッタールームを開設します。利用ご希望の方は、利用日の 1 週間前までに事務局へお申し込み下さい。申し込みの際、お預けになるお子様の氏名・年齢・性別・及び預けられる時間帯を伺います。利用当日、お子様が好きな食べ物・飲料・おもちゃ・着替え・おむつなどに名前を付けてご持参下さい。また申し込み受付後、問診票に記載していただきますことをご了承下さい。キャンセルされる場合は、3 日前までにご連絡をお願いします。なお費用は学会が負担いたします。

日本小児科学会東京都地方会事務局 TEL 03-5388-7007/FAX 03-5388-5193

WAKODO

乳幼児用イオン飲料

アクアライト ORS

乳幼児の電解質・水分補給を新提案！

水分・電解質の吸収率を高めるため、浸透圧を 200mOsm/L と低くしています。

酸味を抑え、乳幼児が飲みやすいりんご風味です。

人工甘味料・保存料等は一切使用しておりません。



125mL×3個パック



乳幼児にとって理想的なバランスで電解質を補うことができます。
125mLの飲み切りサイズです。

和光堂株式会社 お客様相談室フリーダイヤル

●インターネットで和光堂情報を提供しています。http://www.wakodo.co.jp